



V.Gallery TOKYO オープン記念

せきはら しこう
關原紫光

人の形 神の形 展



平成28年4月20日(水)～29日(金・祝)

※会期中無休 午前11時～午後7時まで(最終日は午後5時終了)〈入場無料〉

- 本願寺法主 大谷暢順台下に依頼され、關原紫光が初めて
男性の人形に挑戦した「神武天皇」の新作を初公開。
- 石清水八幡宮へ奉納予定の「応神天皇」、「神功皇后」を初公開。
- 稲盛財団の稲盛倫理賞の副賞に採用された「祝賀」を公開。

本展は、以上の4体が一堂に会する貴重な機会となります。
その他紫光の代表作約20体の京人形を展覧いたします。

推薦人Ⅱ 大谷暢順氏(本願寺法主・親鸞聖人直系の25世)

田中恆清氏(石清水八幡宮 宮司・始祖 武内宿禰より第58代)

せき はら しこう 關原紫光 人の形は神の形展

京人形作家として独自の創作を続ける關原紫光。京人形師として第一人者であった關原紫水の娘として、幼い頃から人形づくりを間近で見るなかでその技を受け継ぎ、京人形を芸術の域にまで高めることを志しました。通常の京人形は、一体の完成までに着付、髪付、頭、手足、小道具等それぞれの工程を分業で制作しますが、紫光はその殆どを自ら手がけ、さらに独自の髪結や衣装製作により魂を吹き込んで、「關原人形」とも呼ぶべき京人形を完成させました。その作品は、日本の美と精神性の調和を示すものとして、フランス、オーストリア、イタリア、中国など海外での展示会においても高く評価されており、わが国を代表する人形作家です。

本展では「人の形は神の形」という、日本文化の原点ともいえる神話をテーマに、關原紫光が初めて男性の人形に挑戦した「神武天皇」の新作に加え、石清水八幡宮へ奉納予定の「応神天皇」「神功皇后」、稲盛倫理賞の副賞に採用された「祝賀」など、約20体の京人形を展覧いたします。



せき はら しこう
京人形作家 關原紫光

京人形師の第一人者である關原紫水の後継者として、伝統的な技法を用いた髪付、着付、衣装手描などを継承し、独自の技術も開発しながら、創作活動中。

- 1993年 父、關原紫水の後継者として京都府の「京もの工芸品の技術後継者」に認定される
- 1995年 女性初の京人形商工業協同組合青年会会長に就任
- 1996年 京都青年中央会理事に就任
- 1998年 伝統工芸士の認定を受ける
- 1999年 石清水八幡宮展示会など關原紫水と共に展示会を開催
- 2004年 NHKドラマ「恋する京都」制作指導、出演
- 2007年 全国伝統的工芸品公募展に「京羽子板」入選
紫光作「京羽子板」京都府の海外贈呈品に選ばれる
- 2009年 3月パリ・ル・グランホテルでの展示会に出品
7月オーストリア・ザルツブルク博物館展示会に出品
- 2010年 1月パリ三越エトワール展示会に出品
2月イタリア・ジェノバ・ドゥカーレ宮殿展示会に出品
- 2011年 1月パリ三越エトワール展示会 2 回目の出品
2月横浜人形の家「關原紫水&紫光 京人形展」開催
- 2012年 上海芸術礼品博物館「日中韓著名芸術家作品展」に紫光作「雪」出品。開幕式典に來賓として招待される
- 2013年 紫織庵（京都市指定有形文化財）で紫光単独の個展開催
- 2015年 米国ケースウェスタンリザーブ大学で稲盛財団支援の稲盛倫理賞の副賞に紫光作「祝賀」が採用される



V.Gallery TOKYO



〒101-0031 東京都千代田区東神田 1-2-11
 アガタ・竹澤ビル 304 号室
 お問い合わせは、080-3835-0035 (担当: 樋本) まで。